



清 泉

令和7年7月18日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

自分のよさを考える☆ そこから始める評価 ～本日、1学期の評価・評定を持ち帰ります～

先日、昭島市立中学校の音楽に関わる部活動が一堂に会して演奏し、互いの演奏を聴く『学芸発表会』が開催されました。各学校（部活動）の普段の練習の様子がよく目に浮かび、そして何を大切にしているのかが伝わってきました。では、清泉中学校はどうだったか？

本校から軽音部、吹奏楽部、コーラス部の3つの部活動が参加しました。ここからは、あくまでも私の主観となります。『音と向き合い、いと高き音楽を追求（究）している、それが清泉中学校だ』と改めて感じたのです。それは、軽音部、吹奏楽部、コーラス部 全ての演奏に対してです。派手さはない。しかし、洗練された純粋な音がホールに響き渡っていたのです。本人たちはこのよさに気づいているだろうか？気づくと世界が変わる。次へのステップに向かう課題の見え方が変わり、取り組み方が変わるだろう。これから行われるコンクールや演奏会に向かって音を奏でる生徒たちの姿が楽しみです。

しかし、自分のよさは“自分”では気がつきにくい。

三者面談が始まります。担任からお子様の学校での様子をお伝えします。1学期、係活動や平素の活動（掃除や給食当番など）、授業や行事、部活動……様々な場面でどのようなよさを発揮していたか具体的にお伝えしたいと思います。そして私たちは家庭や地域でのお子様のよさなどもお伺いします。

そして、次のステップに向かって「何をしていきたいか」お子様の思いを聴きながら、学校と家庭がどのように連携していくか一緒に考えていきたいです。よろしくお願いします。



「学んだこと」をどう生かしていくのか。
昨年度の学校だよりでも書きましたが、「アウトプット」を意識すると、知識や技能が定着していきます。「アウトプット」する場面が実際の生活で行われていくと、学びへの「楽しさ」が湧き出てきます。右の文章はある担任が黒板に書いていたメッセージです。

この担任は、昨年度、ある先輩教師が生徒に向かって「目標」と「目的」について話をしている授業を見ていました。その日以来、このことを繰り返し意識して自分の行動に生かしているように私は見えました。そして、この日、先輩から学んだ大切なことを、生徒に伝えたいと思ったのでしょ

夏休みの目標を考えていますか？夏休みは40日くらいあります。それだけの日数があれば、何か目標が達成できるかもしれませんが。その時にぜひ目的も考えてみてください。

先生の夏休みの目標は、週に5日（できれば毎日）走ることです。目的は、いつもでも健康でいるための身体を作るためです。

こんな感じで、目標を達成した時の自分の姿を想像すると良いですね。

夏休み、のんびり過ごしつつ、小さくてもよいので、目標と目的を考えてみてください。

6月30日（月）の全校朝礼 校長からの課題

◇昨年度から校内に掲示してあるポスター。あなたの考えや思いを教えてください。

手をあげて、「じぶんはこう思う」をみんなに言うたび、しんぞうが**バクバク**した。

けどなぜか、チャットやネットへのかきこみはスラスラできてしまう。

7月16日現在、2クラスが班で話し合ったことを教えてくれました。そして校長室前のポストにも多くの生徒が自分の言葉で自分の考えを伝えてくれました。有難いです。もう少しポストを置いておきますので、保護者・地域のみなさまも学校にお立ち寄りの際に、お考えを伝えていただければうれしいです。